



「彦根市ごみ削減推進協議会」を紹介します！

生ごみは工夫と一手間で良質な肥料になります。生ごみを良質な肥料にする方法の一つとして、ボカシ（※1）と呼ばれる発酵促進剤と混ぜ、発酵させる方法があります。

今回は、ボカシを使った簡易生ごみ処理（※2）の普及啓発に取り組んでいる「彦根市ごみ削減推進協議会」の皆さんから話を聞きました。

（※1）ボカシとは？

米ぬかやもみ殻などに有用微生物を混ぜ合わせたもの。有用微生物は乳酸菌や酵母、光合成細菌などの集まりで、活性液として販売されている。

（※2）簡易生ごみ処理とは？

生ごみを、高価な機器や電力などを使用せず、簡易な方法で肥料に変えること。

「ボカシ」を使って生ごみを肥料化する方法を教えてください。

ボカシと生ごみを生ごみ処理バケツへ交互に入れ、発酵させると良質な発酵肥料となります。

「彦根市ごみ削減推進協議会」とはどのような団体ですか？



「彦根市ごみ削減推進協議会」会長 大森 豈江 さん

簡易生ごみ処理の普及・推進を行うため、市内の簡易生ごみ処理普及啓発団体の代表、市職員、地元大学生およびその他のメンバーで構成された組織で、今年4月に立ち上げました。現在は、ボカシ作りの活動を行っています。今後、ボカシをより多くの皆さんに提供できるよう検討しています。

「ボカシ」や「生ごみ処理バケツ」はどこで手に入りますか？

ボカシは、毎月1回、中敷倉庫（中敷町）をお借りして行っているボカシ作りに参加いただければお渡ししています。生ごみ処理バケツは、インターネットなどで購入できます。興味のある人は、彦根市ごみ削減推進協議会（☎30-6116 FAX 27-0395）へご相談ください。生ごみを減らし、一緒に環境にやさしいまちを作りましょう！



▲作業の様子

●生ごみを肥料化する作業は手間と根気が必要ですが、食事の食べ残しや調理くずが自分の手でリサイクルされ、美味しい野菜が収穫できた時や美しい花が咲いた時の喜びは何にも増して大きいです！

●生ごみを肥料として再利用することで、家庭の生ごみの悪臭がなくなり、ごみ捨てが楽になりました。活動に参加して良かったと思いました！

●活動の場は、普段なかなか出会わないメンバーとの交流の場となっており、和気あいあいと楽しく活動しています！

ボカシ作りに参加している皆さんの声を聞きました！

夏の自由研究でやってみよう！ 生ごみが良質肥料に大変身！

手作り肥料で、有機栽培に挑戦してみよう！



用意するもの

生ごみ



新聞紙



生ごみ処理バケツ



ボカシ

※インターネットなどで購入できます。（詳しくは4ページ中段）

＜手順＞



生ごみ処理バケツの底に新聞紙を敷き、ボカシをまく。
※新聞紙は底板の目詰まり予防や発酵液のろ過用です。



生ごみ処理バケツによく水切りした生ごみを入れる。生ごみを入れるたび、ボカシを振りかける。
※悪臭が発生する場合は、ボカシの量が少ないことが原因と思われます。



上からギュッと押さえたら、生ごみ処理バケツのフタを締め、密閉する。
※ビニール手袋などを使うと手が汚れません。
※フタが緩いと虫が湧く可能性があります。



底に溜まった発酵液はこまめに抜き出す。
※発酵液は活性液と同等品です。500～1000倍に希釈し、肥料として早めに使用してください。



②～④の作業を繰り返し、生ごみ処理バケツが一杯になったら、フタを密閉し、直射日光の当たらない場所で1～2週間発酵させる。



ぬか漬けのような発酵臭がすれば成功です。
※表面に生える白カビは、良い菌ですので問題はありません。

初心者講座のご案内

楽しみながら 生ごみ減量 はじめませんか？

ボカシの作り方や活用方法について知っていただくため、初心者講座を開催します。

④ 8月20日(金) 13:30～15:30
場 市役所本庁舎(元町) 会議室 5-1
対 未経験者限定
定 20人(先着順)
申込方法 電話・FAX・メールのいずれか
(①氏名②連絡先③菜園の有無)
申込期限 8月13日(金)
内容 「彦根市のごみの現状について」
(担当：生活環境課職員)

「生ごみ肥料化ボカシの作り方と活用」
講師：山岡 宏光 氏 (EM研究所)
EM(有用微生物群)の有効活用を熟知した第一人者。現在、各地の勉強会で講師として活躍中。
問 生活環境課 ごみ減量・資源化推進室
☎ 30-6116 FAX 27-0395
✉ gomigenryou@ma.city.hikone.shiga.jp

／ご参加お待ちしております！／

